#選挙でとめる気候危機 ～わたしたちの選挙アクション 成果とこれから～

２０２５年７月２６日

参議院選挙2025 青森県選挙区 気候変動政策アンケート 振り返り

青森の温暖化対策を考える会　中堀一弥

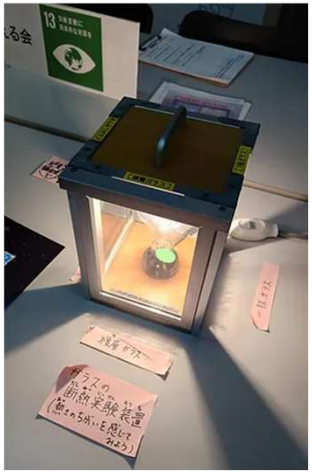
活動のきっかけと自己紹介

- 青森市出身　44歳　薬剤師　（11歳の長男がいます）
- ２０２１年 TVの気候変動の特集で、地球温暖化が大変な事がわかり子どもたちや未来の為に、できる事をしたいと考えた。

青森の温暖化対策を考える会

未来をまもれるのは今

- 2021年に設立
- 青森市を中心に活動する任意団体
- 青森・全国の脱炭素社会を実現することを目指す



太陽光発電

自宅に内窓を設置

中古電気自動車　アイミーヴ　で脱炭素
（購入後5年　陸送込で50万）

- 太陽光のある時間帯で充電するとゼロカーボンとなる
- ガソリンより、エネルギー効率がよい。燃料費換算でも安い
- 冬は、古いこともあり、青森では厳しい時もある
- 通勤には問題なし

参議院選挙2025　青森県選挙区
気候変動政策アンケートを実施

参議院選挙2025　青森県選挙区
気候変動政策　候補者アンケートを実施

本調査は、有権者の気候変動政策への関心を深めることを目的として実施いたしました。

参議院選挙2025 青森県選挙区　気候変動政策に関する候補者アンケート結果　　実施者：青森の温暖化対策を考える会　2025年7月9日公開

各候補者に気候変動政策についてお伺いしました。ご参考としてください。 ※候補者名の五十音順にて掲載

	おぎの優子 氏	加藤つとむ 氏	佐々木晃 氏	滝沢求 氏	福士ますみ 氏
1. 気候変動、地球温暖化対策の重要性	非常に重要	重要	重要ではない	非常に重要	非常に重要
1. についてのコメント（対策の重要性）	2024年の世界の平均気温が史上最高を更新しました。このままでは「後戻り」できない破局的な事態となります。これからの10年が決定的です。国連は「1.5度目標」達成のために、世界全体の温室効果ガス排出量を2035年までに60%削減(19年比)が必要としています。しかし日本政府は経団連の要求を丸のみした低い目標にとどまっています。遅れを抜本的に打開し、とりくみを加速させる必要があります。	地球の変化に対応する事は大切である。	アメリカのトランプが言っている	気候変動問題は、人類の生存基盤を脅かす極めて重要な問題。その解決に向け、我が国の優れた省エネルギー技術等を活かし、世界をリードすることが、持続可能な経済発展のためにも重要。	未来世代へ地球をつなげなければならない。今を生きる者にはその責任があるはずだ。無尽蔵な自然資源の消費を止めなければいけない。また、経済成長一辺倒の競争社会も転換しなければいけない。気候変動、地球温暖化対策は、自然と人間の回復でもあると考える。
2. 気候変動 政策の優先順位	優先度を上げていきたい	現在の優先度で十分	わからない	優先度を上げていきたい	優先度を上げていきたい
	削減目標と計画策定が閣議決定だけで行	多くを植物にした過度		世界全体として、2050年ま	「経済か環境か」のどちらかの問

アンケート回答　全文

アンケート内容はこちら

青森の温暖化対策を考える会　ホームページより

本日の内容

---

1. アンケート内容、実施方法について
2. 回答をもらうまで
3. 結果
4. 感想

アンケート内容、実施方法について

なんで実施？

どんな質問？

２０２３年　青森県知事選挙　青森市長選挙
青森県議会選挙でもアンケートを実施

2023.6.4　投開票
青森知事選挙の候補予定者へ提案・要望書を提出しました！（5月10日　5月11日）

4月23日に実施の
「青森版　気候若者・市民会議」で議論した、
「気候変動政策に関する提案・要望書」を
知事選　候補予定者へ提出しました！

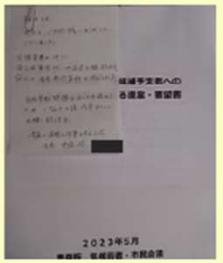
公開質問状も今回一緒にお願いしております。

県知事選　提案書

宮下さん　青森事務所
担当者さまへお渡し

小野寺さん　新町事務所
担当者さまへお渡し

横垣さん　ご本人へお渡し



楠田さんへは　ご都合と希望により
郵送しました。

青森の温暖化対策を考える会ホームページより

なぜアンケートを実施したか？

1. 選挙でも市民に気候変動対策が政治と関係があることを知ってもらい、考えるきっかけとしてもらう
2. 候補者にも気候変動についても対策の声があることを知っていただく
3. アンケートを実施したことを公の記録とする
4. メディアへの掲載の可能性（プレスリリースの投げ込み）
5. 活動仲間やフォロワーへのメッセージ　お知らせ

多くの方の関心を高める重要な戦略的アプローチ

質問内容

---

1. 気候変動対策の重要性について考えを教えてください
2. 気候変動政策の優先順位についての考えを教えてください
3. 進めていきたい脱炭素政策について教えてください（選択式　最大３つ）
4. 気候変動対策について有権者へメッセージをお願いします

2025年6月

参議院議員選挙立候補者みなさま

青森の温暖化対策を考える会 代表 中堀一弥

気候変動に関する参議院議員選挙2025候補者アンケート

気候変動は青森県でも大きな問題となっております。
海水温の上昇によるホタテの被害やリンゴの収穫量の減少、夏場の熱中症、豪雨、豪雪といった影響が県内でも近年顕著になってきました。また、青森県内では1300億円規模のエネルギー費が県外に流出*しており、経済面でも脱炭素が注目されております。
そこで、気候変動と脱炭素に関するアンケートを実施し、候補者みなさまの考えを広く県民に知っていただき、考えていただく機会としたいと考えておりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

*青森県庁ホームページ 再生可能エネルギー：青森県の地域循環構造 環境省地域経済循環分析システムより算出 より引用

【 回答締め切り：6月24日(金) 】

【候補者名】＿＿＿＿＿＿＿＿ 回答方法： ＦＡＸ・メール・googleフォーム

1. 気候変動、地球温暖化対策の重要性についての考えを教えてください

a. □非常に重要
b. □重要
c. □重要ではない
d. □わからない

コメント（自由筆記）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2. 気候変動 政策の優先順位についての考えを教えてください

a. □優先度を上げていきたい
b. □現在の優先度で十分
c. □優先度は下げていきたい
d. □わからない

コメント（自由筆記）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

3. 脱炭素施策として進めていきたいものを教えてください（最大3つまで）

a. □住宅や建築物などの断熱の推進
b. □太陽光発電など再生可能エネルギーの推進
c. □交通の脱炭素化の推進　(電気自動車など次世代モビリティの推進、公共交通の促進など)
d. □植林、あまもなど吸収源対策の拡大
e. □使い捨てプラスチックの削減
f. □気候変動を含めた環境教育の推進
g. □温室効果ガス削減の国際協調の推進

コメント（自由筆記）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

4. よろしければ、有権者へ気候変動対策に関してメッセージをお願いいたします

【自由筆記】＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

気候変動に関する参議院議員選挙2025候補者アンケート

気候変動は青森県でも大きな問題となっております。
海水温の上昇によるホタテの被害やリンゴの収穫量の減少、夏場の熱中症、豪雨、豪雪といった影響が県内でも近年顕著になってきました。また、青森県内では1300億円規模のエネルギー費が県外に流出⋆しており、経済面でも脱炭素が注目されております。
そこで、気候変動と脱炭素に関するアンケートを実施し、候補者みなさまの考えを広く県民に知っていただき、考えていただく機会としたいと考えておりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

⋆青森県庁ホームページ　再生可能エネルギー：青森県の所得循環構造　環境省地域経済循環分析システムより算出　より引用

【　回答締め切り：6月24日（金）　】

質問のポイントについて

- どの政党でも答えやすい内容
- 時間が無くても回答してもらえる内容

全員から回答をいただくことを最優先としました！

回答をもらうまでの流れ

秘書の方、または、事務所へお願い

- 以前からのつながりを活用
- 直接事務所へ訪問
- 事務所のメッセージフォームへ依頼を送信
- 政党の質問フォームへ依頼

【ポイント】
多くのメディア　団体からアンケート依頼があるという認識を持つ
基本的には、誠実にアポをとれば、対応してくれる
連絡先がわからない事があるのが大変

青森選挙区の立候補があった政党

自由民主党

立憲民主党

日本共産党

参政党

NHK党

回答結果

参議院選挙2025 青森県選挙区　気候変動政策に関する候補者アンケート結果

実施者：青森の温暖化対策を考える会　2025年7月9日公開

各候補者に気候変動政策についてお伺いしました。ご参考としてください。 ※候補者名の五十音順にて掲載

	おぎの優子 氏	加藤つとむ 氏	佐々木晃 氏	滝沢求 氏	福士ますみ 氏
1. 気候変動、地球温暖化対策の重要性	非常に重要	重要	重要ではない	非常に重要	非常に重要
1. についてのコメント (対策の重要性)	2024年の世界の平均気温が史上最高を更新しました。このままでは「後戻り」できない破局的な事態となります。 これからの10年が決定的です。 国連は「1.5度目標」 達成のために、世界全体の温室効果ガス排出量を2035年までに60%削減(19年比)が必要としています。 しかし日本政府は経団連の要求を丸のみした低い目標にとどまっています。遅れを抜本的に打開し、とりくみを加速させる必要があります。	地球の変化に対応する事は大切である。	アメリカのトランプが言っている	気候変動問題は、人類の生存基盤を脅かす極めて重要な問題。 その解決に向け、我が国の優れた省エネルギー技術等を活かし、世界をリードすることが、持続可能な経済発展のためにも重要。	未来世代へ地球をつなげなければならない。 今を生きる者にはその責任があるはずだ。 無尽蔵な自然資源の消費を止めなければいけない。 また、経済成長一辺倒の競争社会も転換しなければいけない。 気候変動、地球温暖化対策は、自然と人間の回復でもあると考える。
2. 気候変動 政策の優先順位	優先度を上げていきたい	現在の優先度で十分	わからない	優先度を上げていきたい	優先度を上げていきたい
2. についてのコメント (政策の優先順位)	削減目標と計画策定が閣議決定だけで行われています。 根本的に改め、気候危機打開基本法の制定などで、専門家・市民参加を保障し国会で審議・決定するよう にします。 政府は「エネルギー基本計画」で原発の「最大限活用」や新増設を明記し、日本は G7で唯一、石炭火力の廃止期限を示していません。 原発・石炭火力をやめることが気候危機対策の本気度の試金石になります。	多くを犠牲にした過度な対策には反対する。		世界全体として、2050年までの温室効果ガスの排出を実質ゼロとする目標を政府として取り組んでおり人類共通の最重要課題の一つ。	「経済か環境か」のどちらかの問題ではなく、どちらも両立させていくことが大前提である。 ただ、まだまだ気候変動への意識や対策などは不十分であると思う。 地球を守り、意識や制度、政策の上でも社会を変えていかねばならない。 またどこかの国が「抜け駆け」ることがないよう、気候変動に対する国際協調が必要である。
3. 進めたい脱炭素施策 (*選択肢より最大３つまで回答)	・住宅や建築物などの断熱の推進 ・太陽光発電など再生可能エネルギーの推進 ・温室効果ガス削減の国際協調の推進	・住宅や建築物などの断熱の推進 ・植林、あまもなど吸収源対策の拡大	・住宅や建築物などの断熱の推進 ・植林、あまもなど吸収源対策の拡大 ・使い捨てプラスチックの削減	・太陽光発電など再生可能エネルギーの推進 ・交通の脱炭素化の推進（電気自動車など次世代モビリティの推進、公共交通の促進など） ・気候変動を含めた環境教育の推進	・住宅や建築物などの断熱の推進 ・太陽光発電など再生可能エネルギーの推進 ・交通の脱炭素化の推進（電気自動車など次世代モビリティの推進、公共交通の促進など）

	おぎの優子 氏	加藤つとむ 氏	佐々木晃 氏	滝沢求 氏	福士ますみ 氏
3. についてのコメント （進めたい脱炭素施策）	日本の再エネ潜在量は、国内の電力需要の7倍もあります。大胆な再エネ導入で2035年度の電力比率8割、40年度までに100%を。再エネの優先利用の原則の確立、脱炭素と結びついた農業・林業振興、中小企業の脱炭素化支援を強化します。 CO2 排出量が大きい業界や大規模事業所に削減目標と計画、実施状況を公表す る「協定」を政府と締結することを義務化させます。省エネを産業・都市・住宅など全分野ですすめ、35年度までに消費量の6割削減を。	人工物ではなく、なるべく自然界の物で対応するべきである。	太陽光発電とか電気自動車は今のところ環境にはよくない 電気自動車も石油を燃やして電気を作っているし　太陽光発電も発電装置を作るために電気を使っている	再生エネルギーの最大限の活用等 電気自動車の普及など需要サイドでの取り組み 防災、農作物の品種改良、熱中症対策など、 すでに進行しつつある気候変動への適応	脱炭素政策がイノベーション、新産業を生み出し、地域経済を循環させるタネであるとも考える。 脱炭素政策は決してブレーキではなく、未来への可能性である。
4、気候変動対策に関して メッセージ　（任意）	気候変動の重大な危機は、一人一人や地域のとりくみと同時に、石炭火力や原発に固執する、いまの政治を変えることなしには打開できません。 気候危機打開も、 貧困・格差をただすことも、目先の利益だけを追求する新自由主義の政治を転換することと一体です。 さらに私たちは脱炭素化、省エネ・再エネの推進は、新しい雇用の創出・地域経済の活性化、新たな技術開発など持続可能な成長の大きな可能性があると考えます。 地球を守り、未来に豊かな自然環境を引き継ぐために、力をあわせましょう。	地球の気候変動に寄り添う姿勢が大切だと思います。			青森の豊かな自然は私たちのかけがえのない宝です。 近年の気候変動は、青森においても災害を引き起こし、一次産業にも暗い影を落としています。 未来の世代に美しい青森を引き継ぐために、青森がいつまでも「青い森」であるために、持続可能な社会の実現に向けて全力を尽くします。 そして、私とあなたと、ともにもっとよい未来を創りましょう。

*3における選択肢

□ 住宅や建築物などの断熱の推進
□ 太陽光発電など再生可能エネルギーの推進
□ 交通の脱炭素化の推進 (電気自動車など次世代モビリティの推進、公共交通の促進など)
□ 植林、あまもなど吸収源対策の拡大
□ 使い捨てプラスチックの削減
□ 気候変動を含めた環境教育の推進
□ 温室効果ガス削減の国際協調の推進

【アンケート実施方法】

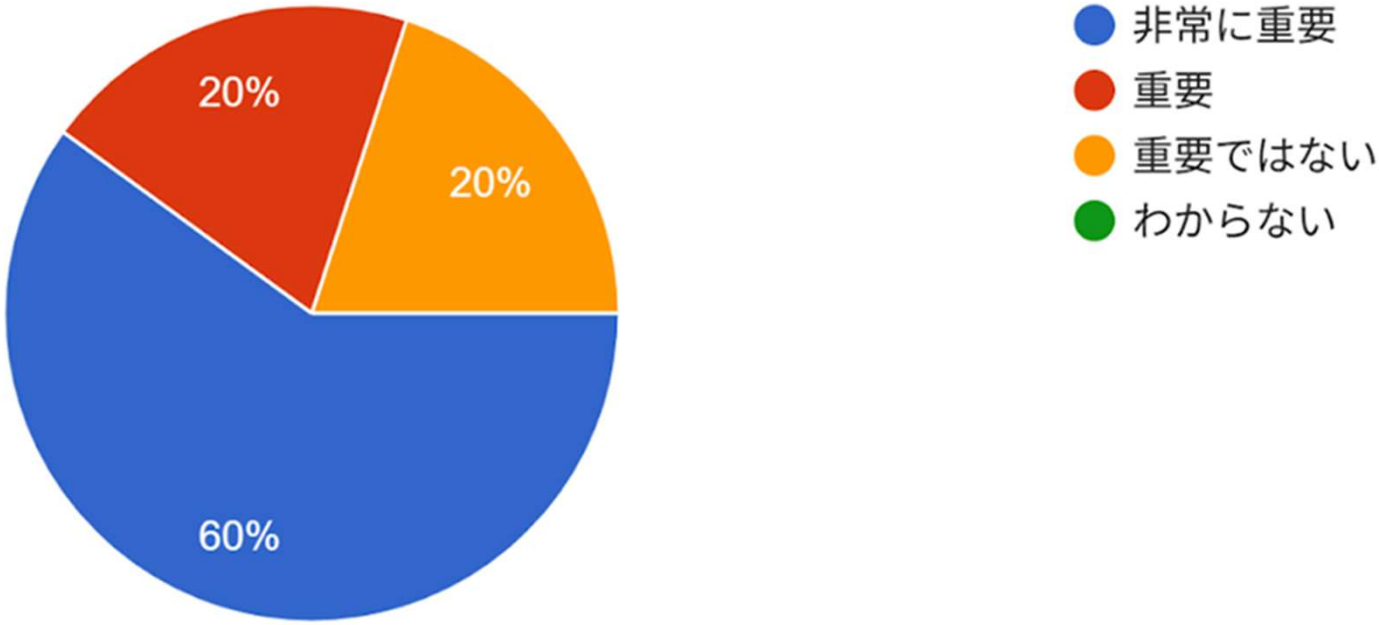
各候補者の事務所または所属政党を通してアンケートへの回答を依頼。
FAX、メール、googleフォームいずれかの方法で回答を受け取った。

【実施者情報】

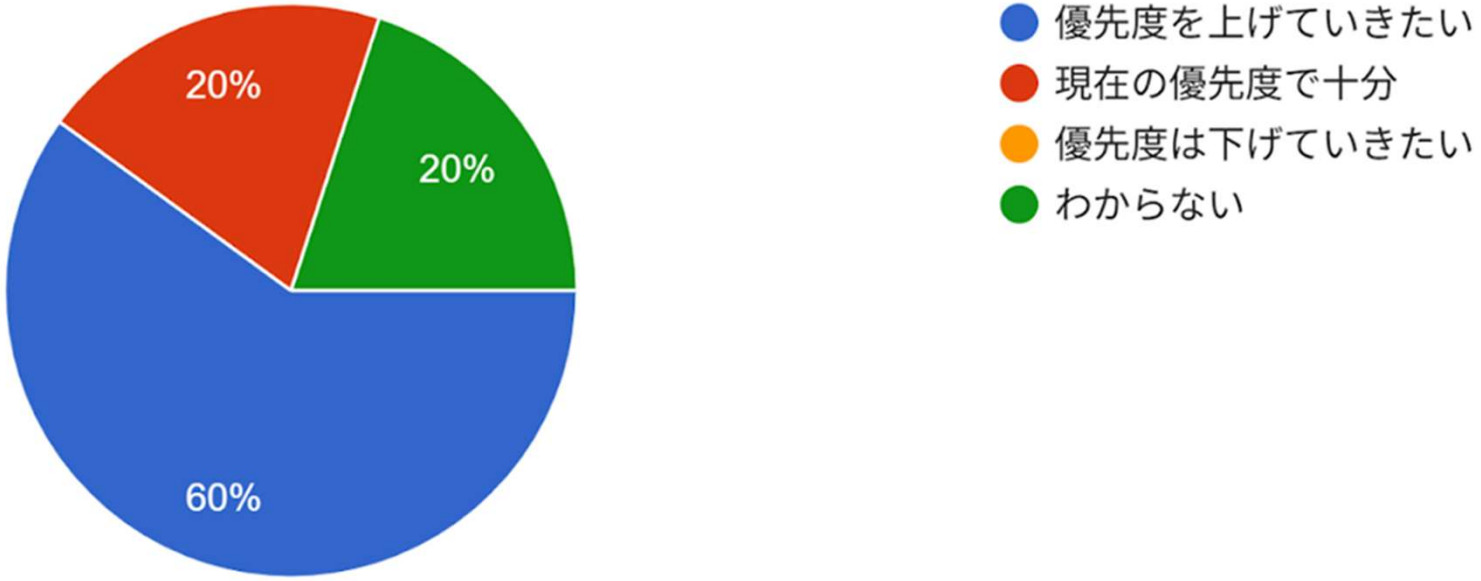
青森の温暖化対策を考える会（主に青森市で活動する任意団体）
連絡先：電話 080-2942-1878 メール 55891co2zero@gmail.com
ホームページ https://aomoriclimateaction.com/

結果グラフ（公開はしていません）

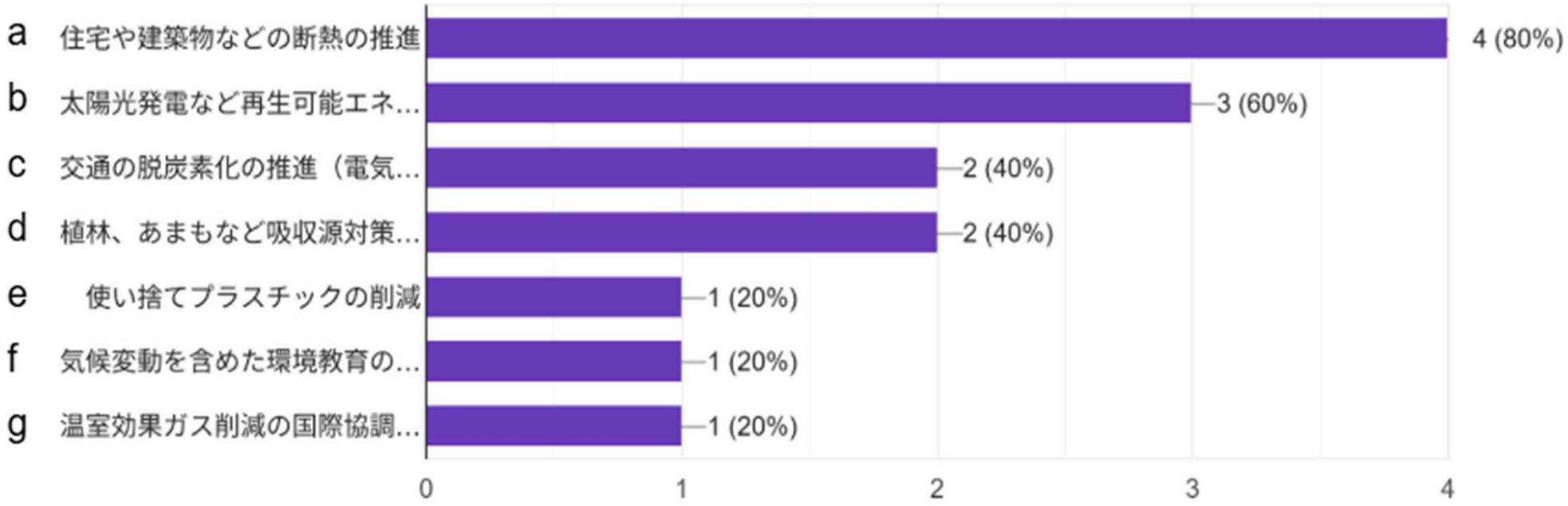
１、気候変動、地球温暖化対策の重要性についての考えを教えてください



２、気候変動 政策の優先順位についての考えを教えてください



３、脱炭素施策として進めていきたいものを教えてください
（最大３つまで　複数解答可）



公開方法

- 青森の温暖化対策を考える会　ホームページで公開
- 県庁記者クラブへ投げ込み
- 知人の記者さんへお知らせ
- **SNS**で発信（**Facebook**　インスタグラム　**X**　**Thread**）

地方紙（新聞）で記事にしてくれました

・【多くの意思決定者】への認識を拡大　⇧

・【多くの市民】への気候変動対策の大切さと政治との関係を知ってもらう　⇧

二つは両輪である

【別件】朝の情報テレビ番組で
気候変動政策について１次産業の方などへインタビュー報道！

高温被害を受けている山形県のサクランボ農家さん、山火事被害にあった方などへ気候変動政策のインタビューの報道がありました。

その後、各党の気候変動政策についての比較の紹介もありました。

感想

・無事　全員から回答をいただき、公開できたことは、一つの成功体験となりました。

・ひとつでも多くのアクションをして、みんなで盛り上がることが、対策を進めていくために大切と感じています。（実績作り。いち市民グループができます！より多くの地域で実施できると盛り上がるのではないか？）

・今回は候補者へのアンケートでしたが、市民のアンケート（市民の声）も合わせてとることができれば、よりメディアが取り上げやすかったかもと思います。

・政治への関心を高めるために、選挙の時だけでなく、市民と政治家の定期的な対話の機会があると市民の政治参画につながりよりよい未来につながるのではないか？

ご清聴ありがとうございました！
みんなで気候対策進めよう！

ぜひみてね！
^^/

原別小学校教室断熱ワークショップ**youtube**

グリーンねぶたプロジェクト

ホームページにもよければみてください！【検索】青森の温暖化対策を考える会